



富士三保清見寺図屏風 当センター蔵



静岡県富士山世界遺産センター 令和4(2022)年度 秋季特別展

第一部

清見寺と武家政権

—足利将軍、豊臣秀吉、徳川家康—

10.1(土) - 10.30(日)

第二部

いただき 頂へのあこがれ

(シリーズ江戸文化のなかの富士山5)

11.3(木・祝) - 11.27(日)

静岡県富士山世界遺産センター企画展示室

開館時間：9時～17時(最終入場16時30分)

休館日：2022年10月18日(火)、11月15日(火)

観覧料：一般700円、70歳以上200円、

大学生等以下・障がい者 無料(証明書をご提示ください)

※特別展観覧料で常設展・シアターもご覧いただけます。



主催：静岡県富士山世界遺産センター

後援：NHK静岡放送局 静岡新聞社・静岡放送

(第一部・第二部とも会期中展示替えあり。新型コロナウイルス感染症防止対策のため会期・開館時間等に変更の場合あり。ホームページ <https://mtfuji-whc.jp/> をご確認ください)

御所参内・聚楽第行幸図屏風 個人蔵・上越市立歴史博物館寄託



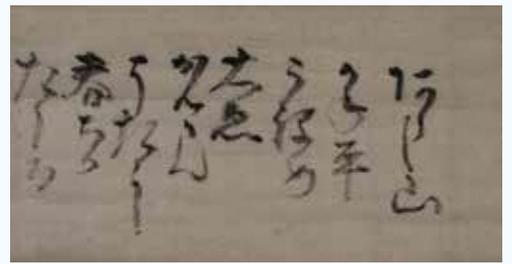
本展覧会では、富士山と武家の文化的な関係を二部構成によりひもときます。

第一部「清見寺と武家政権」では、武家たちの崇敬を集めた禅刹清見寺にクローズアップします。清見寺は足利將軍家により五山官寺制度のなかに組み込まれ十刹のひとつとなり、東海道屈指の名刹として知られてきました。戦国時代の混乱のなか同山も荒廃しますが、今川義元の政治顧問であった太原崇孚のもと五山派から妙心寺派に改められます。中興開山の太田大輝祥暹は、豊臣秀吉や徳川家康ら天下人とも交誼を結び、同山の復興につとめます。とりわけ若年期と老年期を駿府で過ごした徳川家康は、清見寺と密接な関わりをもちました。こうした由緒から江戸時代には、清見寺は東照大権現ゆかりの特別な寺院と位置づけられ、富士山、清見寺と家康を合わせ描いた「富士三保清見寺図屏風」(当センター蔵)などの作品も、雪舟や狩野探幽による定型に応じて描かれます。同屏風は大画面のなかに天下人の事績を絵画化した「御所参内・聚楽第行幸図屏風」(個人蔵)のような作品の系譜にも位置づけられます。

第一部では、清見寺に伝来した貴重な什宝をはじめ、豊臣秀吉や徳川家康ら清見寺を庇護した天下人に関連する資料を展覧し、富士山と不可分の名刹清見寺の文化的アイデンティティを武家文化との関わりから再検証します。

第二部「頂へのあこがれ」では、徳川將軍によって統治された太平の世、武家たちがいかに富士山に関心を抱いてきたのかについて、11代將軍徳川家斉の上覧に供された2つの作品を軸に考察します。寛政6年(1794)富士山登頂を果たした水戸藩士大場維景による登山図「富岳真図」は、その登山記とともに家斉の上覧を得ますが、原本の所在は不明で、いくつかの模本が今に伝わります。そのうちこのほどセンター収蔵となった作品は、信州松代藩主で、松平定信と縁戚関係をもつかわら好文大名としても知られた真田幸弘が写させ跋を加えたもので、諸本のうちで来歴が確かな優品と位置づけられます。一方、翌寛政7年には、富士登頂の過程を克明に描写した谷文晁筆「富士山中真景全図」(当センター蔵)も制作され、同じく將軍家斉の上覧に浴しています。もっとも同作は文晁自身の登山体験に基づいたものではなく、実際には立原翠軒ら水戸藩士とともに登山した小泉檀山が残した図様に依拠しています。

第二部「頂へのあこがれ」では、「富岳真図」を「富士山中真景全図」と合わせて紹介するとともに、同作に関わり跋も加えた真田幸弘にも着目し、真田家や同家ゆかりの長國寺に伝来した作品を展覧します。さらに士大夫たらんと志した文人富岡鉄斎による富士登山にまつわる作品も特別に展示し、江戸時代後期以降、武家の間で勃興し將軍をも巻き込んだ富士山頂への憧憬を追想します。



1

◎主な出品作 (第一部・第二部とも会期中展示替えあり)

〈第一部 清見寺と武家政権—足利將軍、豊臣秀吉、徳川家康—〉

「木造足利尊氏坐像」(静岡市・清見寺蔵)／「木造太原崇孚像」(清見寺蔵)／「木造大輝祥暹像」(清見寺蔵)／「富士三保松原・天橋立図屏風」(個人蔵)／「富士三保清見寺図屏風」(当センター蔵)／「御所参内・聚楽第行幸図屏風」(個人蔵・上越市立歴史博物館寄託)／「豊臣秀吉朱印状 清見寺宛」(清見寺蔵)／「徳川家康書状 清見寺宛」(清見寺蔵)／「徳川家康筆能番組」(清見寺蔵)※1

〈第二部 頂へのあこがれ〉

大場維景原筆・小野正応写・真田幸弘跋「富岳真図」(当センター蔵)※2／「幸弘御生年甲乙七ツ日寅之図」(長野市・真田宝物館蔵)／「真田幸弘画像」(長野市・長國寺蔵)／真田幸弘筆「湘南絵巻」(真田宝物館蔵)／小野正応筆「青葉蔭」(真田宝物館蔵)／谷文晁筆「富士山中真景全図」(当センター蔵)※3／小泉檀山画「富岳写真」(個人蔵)／富岡鉄斎「富士山巔麓略図」(山梨県立美術館蔵)



2

◎関連イベント (新型コロナウイルス感染症防止対策のため変更・中止の場合あり)

第一部スペシャル・ギャラリートーク (特別展観覧券が必要です)

日時: 2022年10月1日(土) 14:00 から

会場: 当センター2階企画展示室

講師: 渡邊康弘氏 (歴史研究者、清見寺文化財担当)

第二部スペシャル・ギャラリートーク (特別展観覧券が必要です)

日時: 2022年11月23日(水・祝) 14:00 から

会場: 当センター2階企画展示室

講師: 平林 彰氏 (山梨県立美術館学芸員)

公開講座 士たちの富士山

日時: 2022年10月16日(日) 14:00-15:00

会場: 当センター1階研修室

講師: 松島 仁 (静岡県富士山世界遺産センター教授、徳川記念財団特別研究員)

※ 事前申込みが必要です (30名先着順/詳細はホームページ)

<https://mtfuji-whc.jp/> にてご確認ください

展覧会監修者が案内する特別鑑賞会 (特別展観覧券が必要です)

日時: 2022年10月2日(日)・10日(月・祝)、

11月3日(木・祝)・27日(日) 各14:00 から

会場: 当センター2階企画展示室

講師: 松島 仁

富士山 私たちの サムライ



3

静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12 TEL: 0544-21-3776 FAX: 0544-23-6800

●JR身延線富士宮駅から徒歩8分

●新東名高速道路新富士ICから約10分 ●東名高速道路富士ICから約15分

